

一貴山小学校「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書

○ 学校の概要

福岡県糸島郡二丈町立一貴山小学校

(平成15年4月)

二丈町立一貴山小学校

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	2	1	1	1	0	7	15
児童数	37	33	41	39	38	37	0	225	

住所・電話番号など

〒 819-1623 (住所) 福岡県糸島郡二丈町石崎152番地

(電話) 092-325-0153

(FAX) 092-325-2618

1 本年度当初、各学校が抱えていた「総合的な学習の時間」の課題について

- ・単元における学習問題のつくりかたを効果的に行い、活動の目的を明確にし、子どもが自ら課題解決を図っていく姿をつくりだすこと。

2 モデル地域としての研究主題を、各学校でどのように受け止め、どのような目標設定をしたのか。

- ・小・中・高の学校間連携の視点から、「福祉」を柱とした総合的な学習の時間学習内容の系統性と発展性の検討を進めていく。

3 平成15年度の各学校の取り組み内容と、その結果どのような成果と課題が見られたのか。

- 「福祉活動」のとらえ方を広げ、「地域に働きかける活動」と捉えなおしたため、新しい題材にも取り組むことができた。
- 「地域にはたらきかける活動の設定を行ったため、学習活動後に有用感を感じている子どもの姿が多く見られた。
- 総合的な学習の時間の内容として、地域と関わり、地域を調べたり地域に発信したりするものが多かったが、地域素材に対し、教師自身が地域の実態や人材の存在感を詳しく知らなかったため、その学習の組み立てがうまくできず、子どもの追究意欲や思考を高めたり、感動させたりすることが少なかった。

4 本年度の課題を踏まえて、平成16年度どのような取り組みを行う予定か。

- 総合的な学習の時間において学校間連携ができる単元や活動を洗い出し、「福祉」を柱とした総合的な学習の時間の学習内容の系統性・発展性の検討を進めていく。

平成16年度 総合的な学習の時間の全体計画

二丈町立一貴山小学校

関係法規

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・町及び県の教育施策

社会の要請

- ・「生きる力」の育成
- ・生涯学習の基礎
- ・今日的課題に対応できる資質能力の育成

地域の実態

- ・田園や山に囲まれ、自然環境に恵まれている。
- ・遺跡や史跡が点在し歴史的な文化施設がある。
- ・伝統的文化や農業の技術等を伝える人材に恵まれている。

【学校の教育目標】

豊かな心と健康でたくましい身体をもち、自ら学び実践する子どもの育成

- ・自ら学び、よく考え、正しい判断力をもった子ども
- ・相手の立場を理解し、共に伸びる清らかな子ども
- ・心身の健康づくりに励み、最後までやりぬく強い子ども

児童の実態

- ・教師からの投げかけや助言により課題をつかむことができる。
- ・課題解決のために取材したり、本で調べたりして追究することができる。
- ・課題解決したことを発表会等の場を活用して発信できる。

保護者の願い

- ・基礎学力の定着
- ・地域との共生

教師の願い

- ・地域を愛する心や思いやりの心など豊かな心の育成
- ・地域社会の発展に対して思いや願いをもち、主体的に地域に働きかけることができる。

【総合的な学習の時間の目標】

福祉体験活動、地域の特色ある活動、興味・関心に基づく活動等を通して主体的に関わりようとする意思や実践的態度を育てる。

- ・人のよさに気づき、関わりを深めながら、自分の生き方を見つめる子どもの育成
- ・地域のよさに学ばせ、地域の一員として自分にできることにチャレンジする子どもの育成
- ・課題に向かって意欲的に活動（伝え、聞き、理解し、学ぶ）する子どもの育成

【本年度の重点】

- ・子どもが学習課題を切実な課題意識として把握できるように、対象との出会わせ方の工夫をする。
- ・主体的に情報を収集・整理・表現する一連の学習活動を通して実践力と言語コミュニケーション力の2つの力を効果的に育成する。
- ・総合的な学習の時間モデル事業の推進を図り、小・中・高の連携や地域人材との連携の在り方を究明する。

学習テーマの目標	学 習 テ ー マ				
	地域に働きかける活動		地域の特色ある活動 (栽培活動)	国際理解 (ALT活用)	情報教育 (コンピューター活用)
	中 学 年 ・高齢者の智恵に気付き、地域の人たちとふれあっていることと態度を育てる。 ・視覚障害者の社会問題を知り、そこから自分たちの生活を見直し、改めていくために自分達にできることを実行しようとする態度を育てる。	高 学 年 ・高齢者や知的障害者に関する社会問題、ペットに関する社会問題を知り、自分たちの生活を見直し、改めていくために自分達にできることを実行しようとする態度を育てる。 ・公民館のアmbiシャス広場のために役立つことを実行しようとする態度を育てる。	・作物を育てている人の知恵や地域を支えている人の存在に気付く。 ・自分の作物を大切に育て、感謝の気持ちをもって収穫しようとする態度を育てる。	・外国人や外国語に慣れ親しむことで、外国の生活・文化に触れ、興味・関心をもたせるようにする。 ・外国人とお互いの考えや気持ちを伝えるために外国語を介して表現しようとする態度を培う。	・各学年に応じたコンピューターの基本的な操作を身につけ、楽しみながら、コンピューターにふれることができる。 ・インターネットを使って資料収集ができる。
3年	健康3B体操 地域のお年寄りとおふれあおう 祖父母学級でお年寄りとおふれあおう	本のおもしろさを発信	いちご栽培	日本の遊びの紹介	コンピューターに慣れカレンダーをつくらう
4年	手話を覚えよう。 盲導犬のことを地域の人に伝えよう 祖父母学級でお年寄りとおふれあおう ambiシャス広場づくり		へちまづくり	日本のお正月の紹介	ローマ字入力になれ文集をつくらう
5年	「みらい作業所」との交流 祖父母学級でお年寄りとおふれあおう 人と犬のよりよい関係を考える		米づくり	子どもの権利条約	インターネットで資料を収集しよう
6年	「ふる里」との交流 祖父母学級でお年寄りとおふれあおう		菊づくり	いろいろな国調べ	インターネットで資料を収集しよう



身につけさせたい資質や能力

	中 学 年	高 学 年
課題発見力	具体的な事象を比較したり、関係づけたりして課題を見つける。	具体的な事象を複数の視点や条件から関係づけて課題を見つける。
学習計画	課題解決のための見通しをもち、簡単な計画を立てる。	課題解決のための見通しや予想をもち、具体的な追究方法を明示した計画を立てる。
課題追究	計画をもとにねらいに基づいて情報を収集し、課題のごたえを求める。	計画をもとに多様な情報を収集し、課題のごたえを求める。
課題解決	課題に対するごたえを明らかにして、学習の成果をまとめる。	課題に対するごたえを明らかにして、学習の成果をまとめたり、結論づけたりする。
情報収集	視点を決めて、身近な範囲から情報を収集したり、情報収集の手段を広げたりする。	広い範囲から多様な情報を収集したり、情報収集の手段を選択したりする。
表現	相手や目的に応じて、自分の考えをまとめたり、発表したりする。	目的や意図に応じて自分の考えをまとめたり、発表したりする。
評価の方法	○ 子どもの活動の観察 ○ 自己評価（振り返りカード・ポートフォリオ評価ができるものに） ○ 表現物や学習後の感想 ○ ゲストティチャーやふれあいの対象からの感想	
教科・領域等との関連	3年：国語「物語づくり」「イカサマのイカ」 4年：国語「教えあおう生活の工夫」	5年：「伝えあおうわたしの意見」 6年：「ニュース番組をつくらう」
地域との連携	3年：一貴山公民館サークル お話の会「ゆらりんこ」 4年：盲導犬訓練センター 視覚障害者、聴覚障害者 地域の高齢者（児童の祖父母） 深江小学校	5年：一貴山公民館 みらい作業所 6年：前原保健所 動物管理センター ふる里